

第2回学識者会議

現地調査資料

平成26年2月

現地調査ルート図

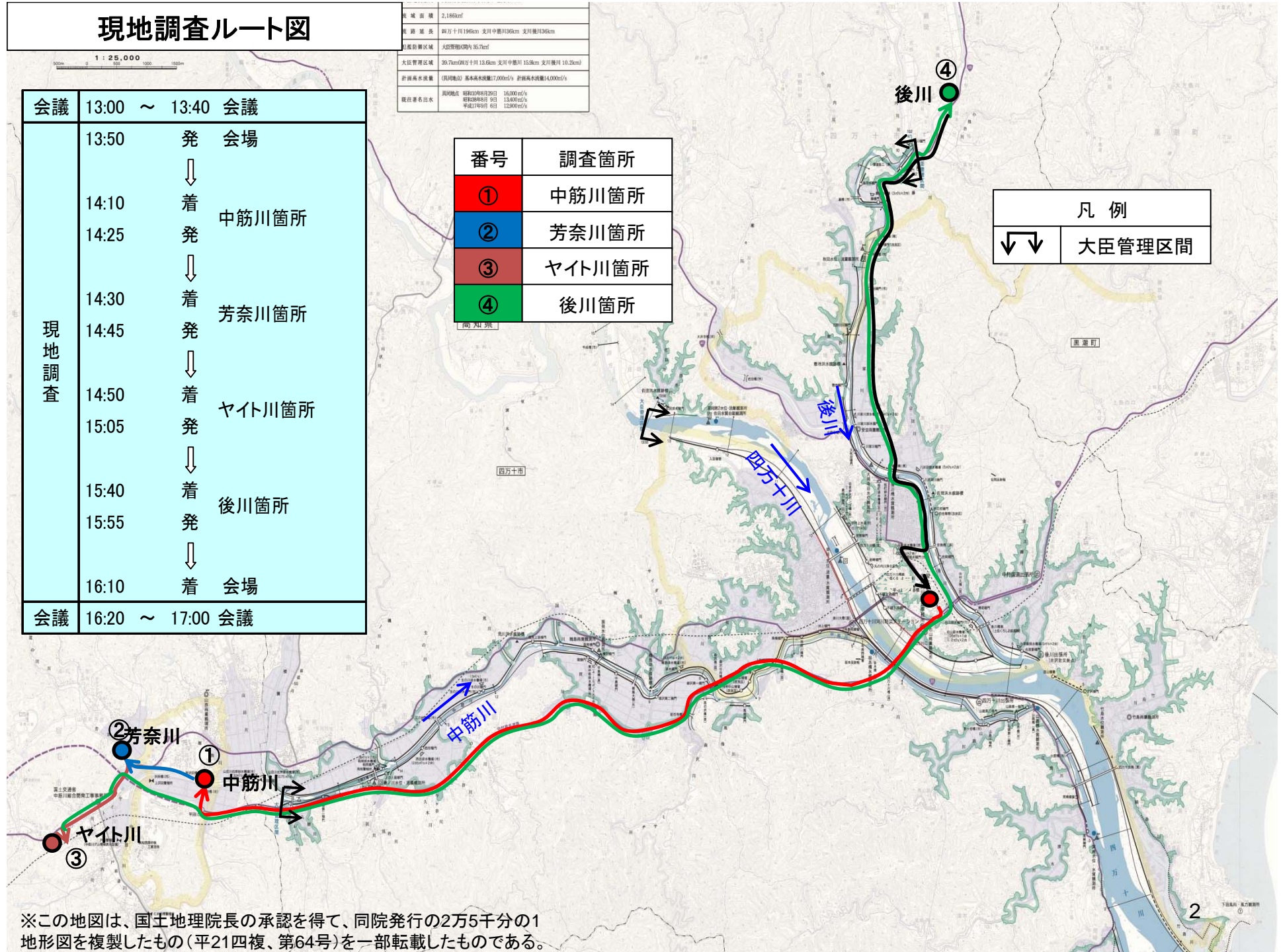
1 : 25,000

流域面積	2,186km ²
経路延長	四方十川196km 支川中筋川136km 支川後川366km
計画管理区域	大臣管理区間 85.7km ²
計画管理区域	30.7km ² 四方十川 13.6km 支川中筋川 13.9km 支川後川 16.2km
計画洪水流量	(河川地点) 基本洪水流量17,000m ³ /s 計画洪水流量4,000m ³ /s
観測地点	四方十川 196km 29日 16,000m ³ /s 中筋川 136km 9日 13,000m ³ /s 後川 366km 6日 12,500m ³ /s

会議	13:00 ~ 13:40	会議
現地調査	13:50	発 会場
		↓
	14:10	着 中筋川箇所
	14:25	発 中筋川箇所
		↓
	14:30	着 芳奈川箇所
	14:45	発 芳奈川箇所
		↓
	14:50	着 ヤイト川箇所
	15:05	発 ヤイト川箇所
	↓	
15:40	着 後川箇所	
15:55	発 後川箇所	
	↓	
16:10	着 会場	
会議	16:20 ~ 17:00	会議

番号	調査箇所
①	中筋川箇所
②	芳奈川箇所
③	ヤイト川箇所
④	後川箇所

凡例	
	大臣管理区間



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(平21四複、第64号)を一部転載したものである。

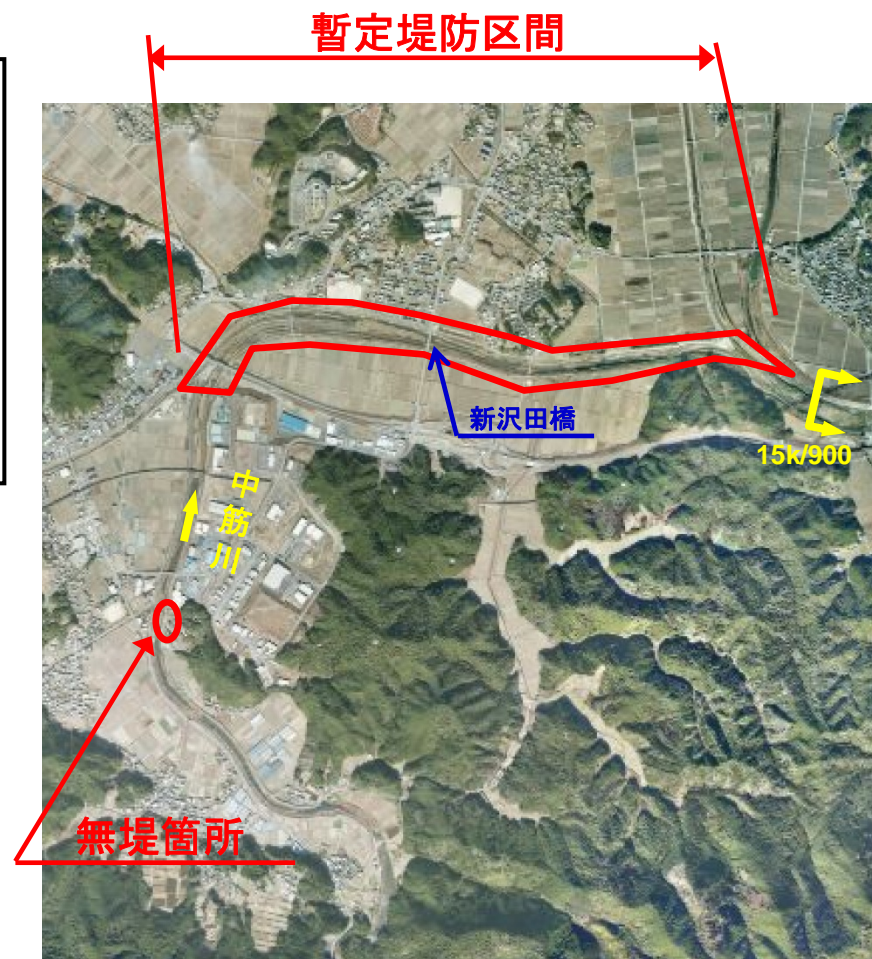
① 中筋川

治水面上における現状と課題

- 県管理区間下流端（15k/900）から上流は、概ね連続した堤防が整備済み。
- 一部、計画堤防高に満たない（平均30cm程度）暫定堤防箇所が存在。
- 近年では、平成16年10月（台風23号）、平成17年9月（台風14号）、平成19年7月（台風4号）、平成23年7月（台風6号）による洪水などで浸水被害が発生。
- 土砂の堆積や河道内植生の繁茂により河積が不足する傾向。

河川環境における現状と課題

- 水域には、オイカワ、カワムツ、コイ等や、重要種のモツゴ、タモロコ等が確認されている一方、ブルーギル、オオクチバス等の特定外来種も確認。
- 水域の河床には、オオカナダモが群落を形成しているほか、特定外来種であるオオフサモも確認。
- 陸域には、ススキ、チガヤ、ヨモギ等のほか、コバノウシノシッペイ等の重要種が生育する一方、特定外来生物であるオオキンケイギクも点在。
- 水際や河道内ではツルヨシ群落が広がり、オオミクリなどの重要種も確認。



② 芳奈川

治水面上における現状と課題

- 全川にわたって、堤防高及び河道断面が不足している。
- 近年では平成16年10月（台風23号）、平成17年9月（台風14号）、平成19年7月（台風4号）、平成23年7月（台風6号）による洪水などで浸水被害が発生。
- 土砂の堆積や河道内植生の繁茂により河積が不足する傾向。

河川環境における現状と課題

- 水域には、オイカワ、カワムツ等や、重要種のタモロコ等が生息。
- 陸域の堤防法面には、ススキ、チガヤ、ヨモギ等の植物やコバノウシノシッペイ等の重要種が生育。
- 水際や河道内ではツルヨシ群落が広がる。



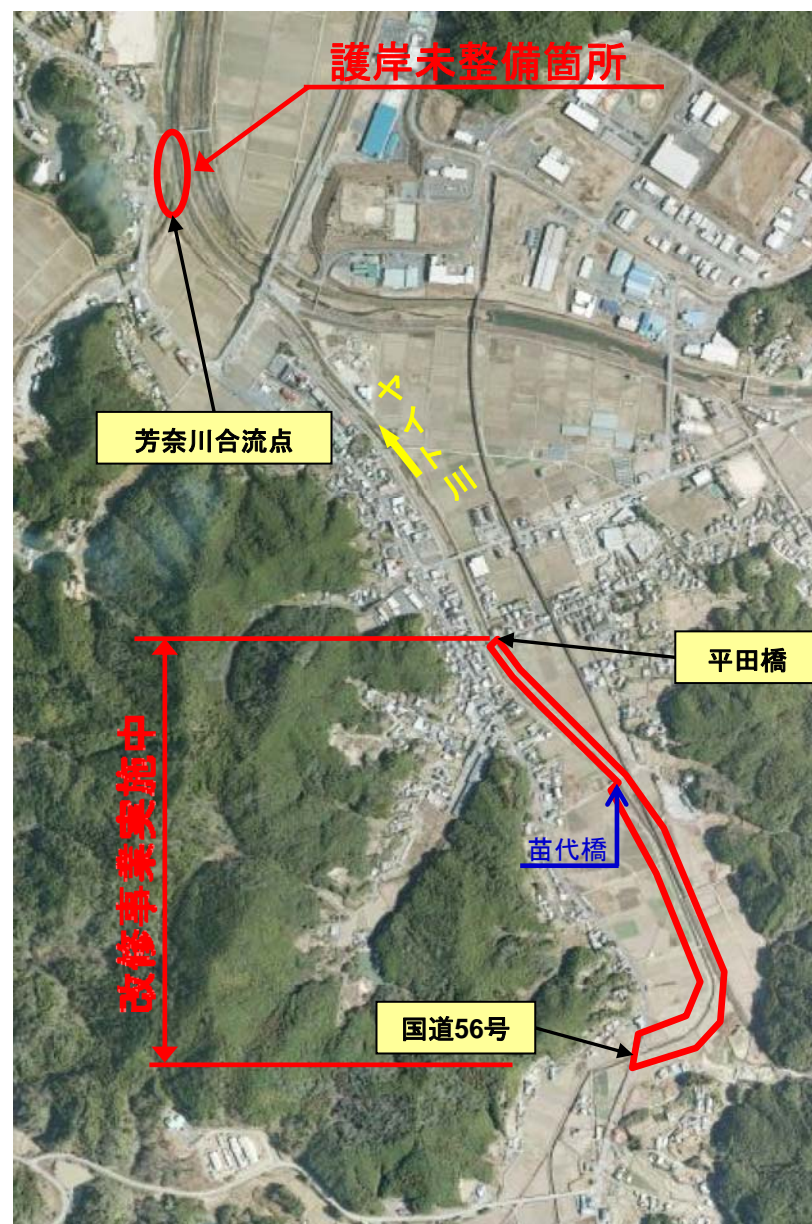
③ ヤイト川

治水面上における現状と課題

- 平田橋より下流は、概ね連続した堤防が整備。
- 芳奈川合流点下流左岸は護岸未整備（断面不足）箇所あり。
- 平田橋より上流は、改修事業実施中。
- 近年では平成16年10月（台風23号）、平成17年9月（台風14号）、平成19年7月（台風4号）、平成23年7月（台風6号）による洪水などで浸水被害が発生。
- 土砂の堆積や河道内植生の繁茂により河積が不足する傾向。

河川環境における現状と課題

- 水域には、オイカワ、カワムツ等や、重要種のタモロコ等を確認。
- 陸域には、ススキ、チガヤ、ヨモギ等のほか、特定外来生物であるオオキンケイギクも点在。
- 水際や河道内ではツルヨシ群落が広がる。



④ 後川

治水面上における現状と課題

- 県管理区間下流端（10k/200）から上流約500m（10k/700）間は、概ね連続した堤防が整備済み。
- 10k/700地点から上流は未改修であり、河道断面が不足している。
- 特に、蕨岡地区の右岸堤防より左岸堤防が低い箇所は、国道439号の浸水が頻発し地域交通に支障が発生。
- 近年では平成16年10月（台風23号）、平成17年9月（台風14号）、平成19年7月（台風4号）による洪水などで浸水被害が発生。
- 土砂の堆積や河道内植生の繁茂により河積が不足する傾向。

河川環境における現状と課題

- 水域には、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ類等が生息。
- 陸域には、ススキ、チガヤ、セイタカアワダチソウなどが生育。
- 河道内には、ツルヨシ群落が広がり、ミズマツバ、スズメハコベ等の重要種が生育。

